



二葉幼稚園

園のたより

2022年



9月の聖句

9月のさんびか

あるものは 100ばいにもなった

マルコ4章8節

きみがすきだって

こどもさんびか改訂版132



のびやかに

この夏、お子さまの感動秘話、ふ〜っと溜息秘話、など笑いと涙、色々あったことでしょう。

私は3年ぶりに山中の墓掃除に行きました。除草剤を使わず、地道に草抜き、黒シートを敷き、バラスを運んでまく、過去に努力を重ねたとはいえ、2時間弱の草抜き。膝も笑えば腕も笑う!? 誰が蒔いたわけでもないのにシートを突き破り高く伸びゆく草達の生命力! 墓を覆うように横へ横へと光を求め生い茂る木々達、蝉達が声の限り鳴き続ける中、時折小雨が降り、そよ風が舞う…。自然の息吹のたくましさは、コロナ禍でも五感をより研ぎ澄まして育つ、子ども達の姿と重なりました。

園では12日間の夏期特別預かり保育。今年はプール、お化け、スライム、プラバン、ゼリーやホットケーキ作りetc…。最終日には恒例! 子ども達が保育室、玩具等大掃除。雑巾がけや洗いが楽しくって全員弾ける笑顔。★ちゃんから思わず♪きれ〜いにきれ〜いにピッカピカ〜♪とリズムカルな手の動きに合わせた自作の歌まで飛び出しました! 「ねえ、○君見て! きっもちい〜い! 」と心底満足げ。「やりたい! 」と意欲を持ち、何でも面白楽しむ子ども達のものびやかさ。どんな時も今ある環境下で精一杯営まれる自然や命の尊さ。時に自然や人も脅威と化しますが、新たな善き力を与えます。今月の聖句「あるものは百倍にも」なり得ると思うと、改めて一人ひとりの良さに目を留め、のびやかに育ちあえるよう祈ります。降り注がれる神さまの愛を信じ、平和を希求して。

夏の便りに兄から西本敏昭氏のある詩が送られてきました。ご存知の方もいらっしゃるでしょうか? よく聴く言葉なのに、何だかとても心がほっと軽くなりました。自分にもありがとう…いいものですね。

「時に辛い想いをすることがやってきます。
時に苦しい想いをすることがやってきます。」

↓ 頑張るよりも、ありがとう
頑張るよりも楽しんで

そういう時に頑張れって言われても
頑張れない時があります。

時にゆるくおもしろく
ありがとうを心を込めなくていいからたくさん
自分に言ってあげてみたらいかがでしょう

そういう時は頑張らなくていいんです。
頑張ると疲れます。

今日もありがとう

そういうこともあるよねと
自分を許して、自分を認めて
あなたがあなたの応援団でいることが大事
なぜなら、あなたはあなたを引っ越すわけにはいかないからです。↑

あなたにいいことが いっぱいありますように」
〜ありがとうの森 西本敏昭〜

抱えている物を一旦降してご自分に「ありがとう」♡輝く子ども達との「いま」を心のびやかに!!【園長】